



ファームウェアバージョン:	R4.2.0.10
ハードウェアバージョン:	A1
発行日:	2016/7/1

本リリースノートには、D-Link 製アクセスポイントのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のアクセスポイントに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいアクセスポイントにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のアクセスポイントがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。

アクセスポイント本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

## 目次：

変更履歴とシステム要件：	2
アップグレード手順：	2
Web GUI を使用したアップグレード	2
追加機能：	4
修正した問題点：	4
既知の問題：	5

## 変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
ランタイム: R4.2.0.10	2016/7/1	DWL-6600AP	A1

## アップグレード手順：

**R4.2.0.9B029 以前のファームウェアからのアップグレードは、同じ手順で、必ず 2 度続けて行ってください。**

**1 回目のアップグレードのみだと、ブートオプションがセットされないためです。**

R4.2.0.9 以前の旧バージョンからファームアップする場合、ファームアップ後にファクトリリセットを行う必要があります。

ファームウェアのアップグレードは、Web GUI から行うことができます。アップグレード方法は次の「[WEB GUI を使用したアップグレード](#)」の手順に従い進めてください。

### Web GUI を使用したアップグレード

1. 本製品と設定用の PC を接続後、WEB ブラウザを立ち上げ、アドレスバーに WEB GUI の管理画面を表示します。  
※ 工場出荷時状態の IP アドレスは http://10.90.90.91 です。  
※ IP アドレスを変更している場合は、変更後の IP アドレスを入力してください。
2. WEB GUI のログイン画面が表示されたら、ユーザ名とパスワードを入力し、ログインしてください。  
※工場出荷時状態のユーザ名は「admin」、パスワードは「admin」です。
3. ログイン後、上部のメニューから「Tools」 -> 「Upgrade」の順でクリックします。



4. 「HTTP」または「TFTP」を選択します。



**HTTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：**

- (1) [参照]/[Browse]ボタンをクリックしてローカル PC 内のファームウェアファイルを指定 → [Upgrade]ボタンをクリックします。
- (2) 確認画面が表示されるので、「OK」をクリックします。
- (3) 経過画面が表示されますのでしばらくお待ちください。

**注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。**

- (4) アップグレード完了後、本製品は再起動します。  
ログインし、「Maintenance」>「Upgrade」メニューで、ファームウェアがアップグレードされたことを確認してください。
- (5) R4.2.0.9B029 以前のファームウェアからのアップグレードの場合は、続けて、さらにもう 1 回手順 (1) ～ (4) を繰り返してください。
- (6) さらに、Telnet もしくはコンソールにより、下記のコマンドの出力結果が同じバージョンになっていることを確認してください。  
bootenv -d bootver  
bootenv -d altbootver  
※どちらかのコマンドによる出力が 4.2.0.10 になっていない場合は、再度手順 (1) ～ (4) を繰り返してください。

**TFTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：**

- (1) [Image Filename]と[Server IP]を入力 → [Upgrade]ボタンをクリックします。
- (2) 確認画面が表示されるので、「OK」をクリックします。
- (3) 経過画面が表示されますのでしばらくお待ちください。

**注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。**

- (4) アップグレード完了後、本製品は再起動します。  
ログインし、「Maintenance」>「Upgrade」メニューで、ファームウェアがアップグレードされたことを確認してください。
- (5) R4.2.0.9B029 以前のファームウェアからのアップグレードの場合は、続けて、さらにもう 1 回手順 (1) ～ (4) を繰り返してください。
- (6) さらに、Telnet もしくはコンソールにより、下記のコマンドの出力結果が同じバージョンになっていることを確認してください。  
bootenv -d bootver  
bootenv -d altbootver  
※どちらかのコマンドによる出力が 4.2.0.10 になっていない場合は、再度手順 (1) ～ (4) を繰り返してください。

## 追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
R4.2.0.10	特になし

## 修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
R4.2.0.10	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. CVE-2015-1789/1791/3195 の脆弱性を修正致しました。</li> <li>2. フラグ閾値が 256 に設定されると、DHCP パケットが転送されない問題を修正致しました。</li> <li>3. ワイヤレスクライアントが WEP+802.1X で再認証された場合、ワイヤレスクライアントからのパケットが転送されない問題を修正致しました。</li> <li>4. モバイルデバイスにおいて、http リダイレクトページの確認ボタンのサイズが小さすぎる問題を修正致しました。</li> <li>5. Managed AP wireless switch パラメータに無効な IP アドレスが入力できる問題を修正致しました。</li> <li>6. HTTPS を介してログインする際、証明書内のコモンネームと他の欄を編集する問題を修正致しました。</li> <li>7. デバイスの UI にアクセスしている間、HTTP パケットをキャプチャするツールで、burp proxy intercept 内のログインパスワードが平文で見えてしまう問題を修正致しました。</li> <li>8. RADIUS Fail-through 無効オプションが動作しない問題を修正致しました。</li> <li>9. RF スキャンレポートがランダムに送信されない問題を修正致しました。</li> <li>10. ダイナミック ACL アサインに関する問題を修正致しました。</li> <li>11. CLI から設定した送信出力値が AP に正しく設定されない問題を修正致しました。</li> <li>12. パスワードの長さが 32 文字に増加する問題を修正致しました。</li> <li>13. ファームウェアアップグレード後、管理が外れることがある問題を修正致しました。</li> <li>14. 無効な IP アドレスで IPv6 デフォルト IP アドレスを設定した際、正しい警告メッセージを表示するように修正致しました。</li> <li>15. クリックジャッキングの脆弱性を修正致しました。</li> <li>16. HTTP サーバ以外にある CSRF.html をクリックした際、管理者パスワードを変更することができる問題を修正致しました。</li> <li>17. HTTPS でログインする際、クッキーが secure-only としてマークされない問題を修正致しました。</li> <li>18. コントローラによる管理が失われると、IP アドレスが変更され、パスワードが失われる問題を修正致しました。</li> <li>19. CLI から設定し、AP を再起動した際、SNMP 機能はカスタムポートで動作しない問題を修正致しました。</li> <li>20. 最新の 802.11i WPA2 が常に有効であることにより、WAP+TKIP が内部で独立される必要がある問題を修正致しました。</li> <li>21. システムが再起動した後、RF スケジューリング設定が保持されない問題を修正致しました。</li> <li>22. WPA パーソナルキーにスペースを入れた後、デバイスが再起動する問題を修正致しました。</li> </ol>

- |   |
|---|
| 23. 重複する SNMPv3 View を追加しようとしたときに、適切なエラーメッセージが表示されない問題を修正致しました。 |
| 24. VAP で SSID のパスワードを変更した後、ワイヤレスクライアントが切断された状態になる問題を修正致しました。   |

## 既知の問題：

ファームウェアバージョン	既知の問題
R4.2.0.10	<ol style="list-style-type: none"> <li>GUI アクセスが遅くなることがある問題。</li> <li>CLI から Radio ページの自動チャンネルオプションを設定しても GUI に反映されない問題。</li> <li>DWC-2000 において WDS link status and statistics ページで WDS 接続の正しくない Radio モードが表示される問題。</li> <li>5GHz で確立した WDS リンクでインターネット 8.8.8.8 に Ping すると 10 以上連続で Ping ロスが発生する問題。</li> <li>ピア設定を送信すると EmWeb がハングする問題。</li> <li>Client QoS ACL で IPv6 : IGMP だけを許可しても失敗する問題。</li> <li>クラスタコントローラが RADIUS-power-set AP に対して出力を変更させる問題。</li> <li>アクセスポイントの IP アドレスが x.x.x.255 に設定されると、他のデバイスと通信できなくなる問題。 対応策：アクセスポイントのアドレスの末尾を 255 にしないでください。</li> <li>SNMP リクエストの送信元を指定されたアドレスのみに制限する restrict 機能を有効にした場合、snmpwalk が実行できない問題。</li> <li>「Daily」以外を選択してスケジュール設定を行うと、スケジュールの機能が正しく動作しない問題。</li> <li>DTIM とビーコンインターバルが Web GUI で設定した内容と一致しない問題。</li> <li>スケジュールでアクセスポイントをダウン状態にした期間であっても、ワイヤレスクライアントがアクセスポイントに接続できてしまう問題。</li> <li>クライアントを Forced Roaming 機能から切り離すための、適切な Reason Key が存在しない問題。</li> <li>正しい IP とポートで SNMPv3 ターゲットを追加することなく、snmpwalk を実行できる問題。</li> <li>“Restrict the Source of SNMP requests”を有効にして特定のアドレスを指定すると、snmpwalk を完了できない問題。</li> <li>デバイスが IPv6 ゲートウェイ(radvd)を GUI で表示しない問題。</li> <li>パケットキャプチャを始めると、GUI にアクセスできない問題。</li> <li>スイッチが不正 AP を検出したときに、LAN ホストがトラップを受信できない問題。</li> <li>WDS を有効にしたあとに radio/VAP 画面で変更を行うと、デバイスが毎回リポートする問題。</li> <li>ユーザがデバイスの SSH を無効にしても、SSH セッションが終了しない問題。</li> <li>SNMPv3 のユーザ名/認証タイプ/キーが CLI から設定できない問題。</li> <li>Promiscuous Capture 機能が動作しない問題。</li> <li>Broadcast Key Refresh Rate に正しくない数値を設定しても、適切な警告メッセージが表示されない問題。</li> <li>ユーザが間違えたサーバ IP で不正な SSL 証明書もしくは有効な証明書をアップロードしようとした際に正しいエラーメッセージを表示しない問題。</li> </ol>

***Copyright 2006-2016 D-Link Japan K.K.***